



特集

膵がんセンター 「膵がんドック」のご紹介

雨山の郷の桜(海草郡紀美野町)

CONTENTS

Topics

- 心房細動のパルスフィールドアブレーション
- 就任の挨拶(脳神経内科学講座・宮本教授)

Information

- 「外来薬物療法センター」及び薬物療法部門長のご紹介
- 病状が安定し終診となった患者さんへ
- 腫瘍内高乳酸によってヒストン修飾と免疫抑制を誘導する新たな経路の発見
- 市民公開講座「がん専門医療人と地域との連携における課題」開催報告
- ボランティア感謝状贈呈式

【理 念】

私達は安全で質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

【基本方針】

1. 患者さんとの信頼関係を大切に、十分な説明と理解に基づく同意を得て、安全な医療を行います。
2. 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。
3. 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。
4. 和歌山県の基幹病院として、地域の保健医療に貢献します。

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲(はなおかせいしゅう)が全身麻酔薬として用いた植物「曼荼羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

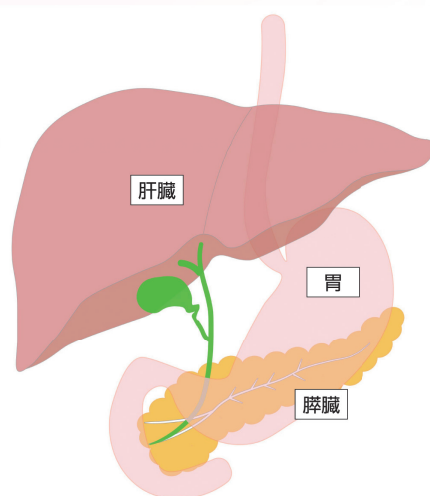
膵がんセンター 「膵がんドック」のご紹介

膵がんは初期の段階での発見が難しく、見つかった時には既に進行しているケースが非常に多いがんです。日本人の膵がん死亡数は近年、胃がんを抜いて第3位となっています。

当院膵がんセンターでは、膵がんの早期発見に特に力を入れており、2021年2月より膵がんドックを開設しています。

膵臓と膵がんについて

膵臓は胃の後ろにある長さ20cmほどの左右に細長い臓器で、食物の消化を助ける膵液の分泌と、血糖値の調節等を行うインスリン等のホルモンを分泌する役割があります。膵臓は体の奥まった所にあるため、がんが発生しても症状が出にくく、早期発見が難しいがんで、通常健康診断では中々見つかることができません。自覚症状が出てから発見した場合はがんが進行している場合が多く、特に治療が難しいがんと言われています。



膵がんドックの受診をお勧めする方

(1) 膵がんかどうか心配な方

- ・持続する腹痛や背部痛があるが、他院で問題ないと言われた
- ・小さな嚢胞はあるけど今後は検診でのフォローを勧められた

(2) 膵がんのリスクがある方

- ・血縁者に膵がんにかかった人がいる、毎日お酒を飲む、喫煙歴がある
- ・糖尿病、肥満傾向(BMI30以上)、体重減少



当院の膵がんドックの特徴

① 快適な検査

控え室(個室)を準備していますので、ゆったりと検査を受けていただけます。



② 充実のチーム医療

検査及び結果の検討は膵がんセンターの専門家がチームで行います。検査結果は、約2～3週間後に郵送もしくは専門医外来で説明させていただきます。

③ 検査後も安心

万が一、病気の疑いがあった場合は、当院での精密検査や治療を受けていただくことができます。



検査内容

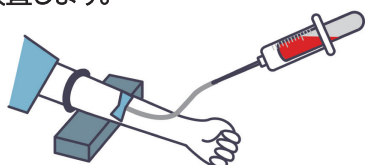
膵がん治療においては早期発見をすることが何よりも重要です。膵がんドックでは自覚症状がない方でも膵がんの有無を調べることができます。下記3つのプランよりご希望に合わせて選択していただけます。

プラン名	内容	検査内容	料金(税込)※1
プラチナプラン (実施:火曜・木曜)	胆・肝・膵すべてを診る最も充実したプランです。 超音波内視鏡検査(胃カメラ)も行うので、胃の状態も診ることができます。	●血液検査 ●腹部エコー検査 ●MRI検査 ●超音波内視鏡検査	121,660円
ゴールドプラン (実施:月曜・金曜)	胆道、膵臓を診るプランです。 超音波内視鏡検査(胃カメラ)も行うので、胃の状態も診ることができます。	●血液検査 ●MRI検査 ●超音波内視鏡検査	114,180円
シルバープラン (実施:水曜)	精密腹部エコー(半座位法や胃充満法を追加実施)で、胆・肝・膵を診るプランです。検査が比較的短時間で済み、超音波内視鏡検査(胃カメラ)がないので体への負担が少なく、超音波内視鏡検査に抵抗がある方向けの検査です。	●血液検査 ●MRI検査 ●膵精密エコー検査	103,400円

※1 費用はすべて自費になります

1 血液検査

膵酵素、腫瘍マーカーの数値を参考に膵がんの疑いがないか検査します。



2 MRI(MRCP)検査

強い磁場を有するトンネルの中に入り、胆汁や膵液などを抜き出して体の中を画像化して病気を発見します。放射線を使いませんので、比較的体への負担が少ない検査です。



▲MRI(MRCP)検査

3 腹部エコー検査(US)

超音波を体の外から当て、反射した音から目的の部位の画像を作ります。超音波は人体に無害で、痛みもありません。膵がんドックでは、観察範囲を胆嚢や膵臓の周辺に絞り、疾患の発見に努めます。



▲腹部エコー検査(US)

4 超音波内視鏡検査(EUS)

胃カメラの先端に搭載された超音波(エコー)装置で、通常の画像検査では診断することのできない膵臓、胆のう、胆管にできる早期がんなどの小さな病変を発見するための検査です。消化管の内側から検査するため、腹部エコー検査に比べて体形や消化管ガスに影響されずに詳細に病変を観察することができ、約5mm程度の早期膵がんも発見することが可能です。



▲超音波内視鏡(EUS)

お申し込みについて

膵がんドックは**すべて予約制**で、毎日(平日のみ)1名の受付となっています。

プランを選んでいただいた上で、下記**電話予約センター**にお電話いただき、予約してください。

●電話予約センター TEL:**073-441-0489**

【受付時間】8:30~16:00まで
(土・日・祝日・年末年始を除く)



膵がんドック
ホームページ

心房細動のパルスフィールドアブレーション

不整脈の一種である心房細動の患者さんは非常に多く、日本では現在約100万人いるといわれています。心房細動を無治療で放置すると脳梗塞や心不全になってしまう可能性があるため、早期発見・早期治療がその予防に重要であり、ひいては健康長寿につながります。

心房細動に対する治療の3本柱は、①生活習慣の改善、②薬物治療、③カテーテルアブレーション治療です。その中で③のカテーテルアブレーション治療を提供できる和歌山県内の施設は多くはありませんので、当院ですでに多くの患者さんに対応できるように力を入れています。

カテーテルアブレーション治療には、使用するエネルギー源の違いにより、いくつか種類があり、カテーテルの形状もさまざまです(下図)。

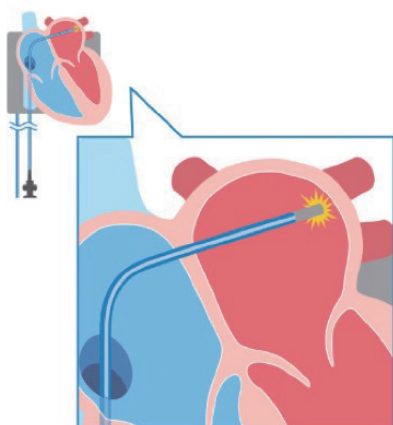
主なエネルギー源

- ・高周波エネルギー
- ・冷凍エネルギー
- ・パルスフィールドエネルギー

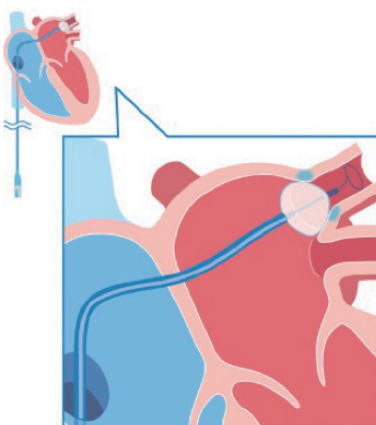
主なカテーテルの形状

- ・ストレート型
- ・バルーン型
- ・リング型

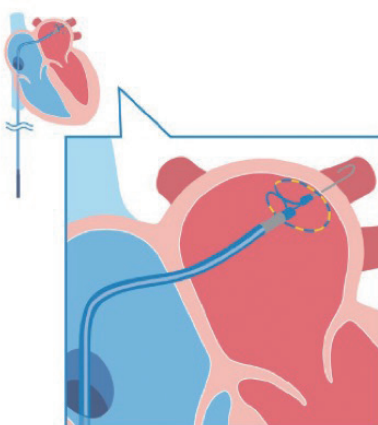
例：高周波エネルギー ストレート型



例：冷凍エネルギー バルーン型



例：パルスフィールドエネルギー リング型



その中でも、最も新しい方法がパルスフィールド(パルス電圧を利用した電場)アブレーションで、当院では令和7年2月から心房細動に対するパルスフィールドアブレーションを実施しております(右下図)。従来型の高周波エネルギー・冷凍エネルギーを用いたアブレーションでは、高温・低温で異常な心筋細胞を死滅させることで治療効果を得ていましたが、心臓の周囲にある食道や神経などの組織にもダメージが波及してしまい、合併症につながることも1つの問題点でした。

その一方で、パルスフィールドエネルギーは、食道や神経などの組織にはほとんどダメージを与えず、異常な心筋細胞には有効なダメージを与えることが研究で示されており、心臓の周辺組織に関連した合併症の発生リスクを低減することが期待されています。

当院では、今後も心房細動に対するパルスフィールドアブレーションを多く実施することで、より安全な治療を提供し、県民の健康長寿推進へ貢献できるよう努めてまいります。

▲ 心房細動に対するアブレーションの種類
(日本メトロニクス株より提供)



リング型のカテーテル



▲ パルスフィールドアブレーションシステム
(日本メトロニクス株より提供)

教授就任挨拶

脳神経内科は全身を診る診療科です



脳神経内科学講座 教授
宮本 勝一

令和6年11月付けで和歌山県立医科大学脳神経内科学講座教授に就任しました宮本勝一と申します。就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

医大病院に異動して、もうすぐ4年になります。これまで国内外の様々な医療機関で医療、研究、教育に携わってきました。この経験を生かして和歌山の医療に貢献してまいります。また、趣味のマラソンが高じて、ランニングドクターもしておりますので、運動が健康に欠かせないことも実証してまいります。和歌山ジャズマラソンも走ります。

さて、当科は、脳、脊髄、末梢神経、筋肉の病気を扱う診療科です。患者さんの症状は、頭痛、めまい、ふるえ、しびれ感、筋力低下、歩行障害、認知症、けいれん、意識障害などです。これらの症状に対して、問診、診察、検査を行い診断します。当科はどの病院にもある診療科ではありませんので、近隣の医師から紹介受診される患者さんも多い状況ではありますが、緊急性の高い患者さんを優先的に受け入れるなど柔軟な運用に努めてまいりますので、これからも医大病院の脳神経内科をよろしくお願い致します。

経 歴

- 1992年 3月
.....近畿大学医学部卒業
- 1992年 6月
.....大阪赤十字病院 内科系研修医
- 1996年 4月
.....京都大学医学部大学院
- 2000年 4月
.....国立精神・神経センター
神経研究所
- 2002年 6月
.....米国ハーバード大学
- 2004年 6月
.....近畿大学医学部 神経内科
- 2021年 4月
.....和歌山県立医科大学
脳神経内科学講座 准教授
- 2024年11月
.....和歌山県立医科大学
脳神経内科学講座 教授

診 療 内 容

片頭痛、てんかん、認知症、脳梗塞などの一般的な病気に加えて、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、筋ジストロフィーなどの神経変性疾患や、多発性硬化症、重症筋無力症、ギラン・バレー症候群、多発性筋炎などの神経免疫疾患を診療しています。

近年、治療薬の進歩により治療できる病気が増えています。特に抗体製剤と呼ばれる治療薬は、神経免疫疾患の経過を劇的に改善したほか、片頭痛や認知症にも使われています。パーキンソン病でも新しい治療が始まっています。当科では保険適用のほぼ全ての最新治療が行えますので、県外に出なくても医大病院で治療が完結します。医局員一同、力を合わせて診療しております。



▲脳神経内科学講座 医局員一同

「外来薬物療法センター」及び薬物療法部門長のご紹介

2024年11月1日付けで和歌山県立医科大学附属病院の腫瘍センター薬物療法部門長を拝命致しました。謹んで皆様方にご挨拶申し上げます。

最近、医学の進歩は目覚ましく、がん治療の薬も大きく進化しています。これまでの抗がん剤に加え、「免疫療法」と呼ばれる新しい治療法が注目を集めています。たとえば、ニボルマブやペンブロリズマブといった免疫チェックポイント阻害薬は、さまざまながんの治療に用いられており、現在では標準的な治療法の一つとなっています。

さらに、2つの異なる標的を治療する抗体薬(2重特異性抗体)や、CAR-T(カーティ)細胞療法といった新しい免疫療法も登場し、当院でもこれら

の治療を取り入れています。これらの薬により、がん治療の効果は大幅に向上しています。

一方で、新しい薬が増えることで、副作用への対応が複雑化しています。特に免疫療法では、「サイトカイン放出症候群(CRS)」や「免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群(ICANS)」といった特有の副作用が生じることがあります。これらに対応するため、トシリズマブという、もともと膠原病治療で使われていた薬が用いられることも一般的になってきました。

このように、新しい治療法を安全に行うためには、これまで以上に幅広い知識と適切な管理が求められています。当院の外来薬物療法センターでは、看護師、薬剤師、医師など多職種が連携し、県民の皆様には質の高い医療を提供できる体制を整えています。チーム一丸となって、一人でも多くの患者さんにより良い医療を届けられるよう、全力を尽くしてまいります。

最後になりましたが、今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。この場を借りて、就任の挨拶とさせていただきます。

腫瘍センター薬物療法部門長
堀 善和



▲ 外来薬物療法センター

病状が安定し終診となった患者さんへ

当院は、特定機能病院として承認されており、高度な医療の提供や診断をおこなっています。当院で専門的な治療が終了した患者さんには、主治医から「終診のお知らせ」をお渡しし、かかりつけ医やお近くの医療機関での継続した受診をお願いしています。

また、地域に密着した身近な「かかりつけ医」をもつことは、ご自身の健康管理をしていただくためにも大切であると厚生労働省で推奨されています。

終診となった患者さんがご自身の判断で引き続き当院での受診を希望される場合は、受診の都度、通常の診療にかかる費用に加え、再診時選定療養費をご負担いただくことになります。

これは、医療機関相互の役割分担を明確にし、また円滑な連携推進を目的として、厚生労働省により制定されています。ご理解とご協力をお願いします。

● 再診時選定療養費

医 科	3,050円(税込)	歯 科	1,930円(税込)
-----	------------	-----	------------



腫瘍内高乳酸によってヒストン修飾と免疫抑制を誘導する新たな経路の発見

研究により、がんは乳酸を過剰に産生し、がんの進展を促進していると考えられています。実際、乳酸濃度が高い頭頸部癌患者の予後は悪いことが報告されています。このことから、どのように乳酸ががんを進展させているかを解明することは、がん治療の新たな戦略を模索する上で重要な課題となっています。

がん組織には、がん細胞だけでなく多様な免疫細胞が存在します。乳酸は免疫細胞の機能を抑制し、がん細胞の増殖を助けていますが、これまで抗体産生細胞である

B細胞への影響は不明でした。このたびは本学の研究チームでは、乳酸がB細胞に作用し、IL-10と呼ばれる免疫抑制物質の産生を促進させることを発見しました。また、乳酸はヒストン*1修飾*2を変化させることによりB細胞の遺伝子発現を調整していることも明らかにしました。

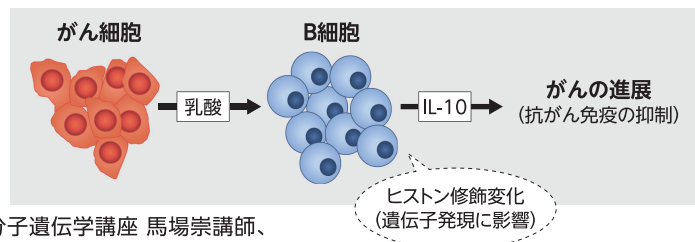
以上の結果から、乳酸による免疫細胞の抑制は、B細胞への作用が一因である可能性が示唆されました。本研究は乳酸によるがんの進展の解明と、新しいがん治療につながる研究として期待されています。

*1ヒストン…タンパク質の一種で、遺伝子発現調節などの重要な役割をもつ。

*2修飾…化学修飾。タンパク質やDNAなどの生体高分子に含まれる特定の官能基を化学的に変化させて、活性や反応性などの機能を変化させること。



▲ 記者発表する泌尿器科学講座 村岡聡助教(左)、分子遺伝学講座 馬場崇講師、泌尿器科学講座 原敷教授、分子遺伝学講座 井上徳光教授(右)



和歌山県立医科大学 がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)養成プラン 日本がんサポーターブケア学会リレーセミナー

市民公開講座「がん専門医療人と地域との連携における課題」開催報告

令和7年1月25日(土)に、がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)養成プランの令和6年度市民公開講座を開催しました。今回の市民公開講座は、日本がんサポーターブケア学会との共同で開催したもので、当日はオンライン・対面参加者合わせて108名の方のご参加のもと、「在宅医療におけるがん患者支援の現状と課題」をテーマとした基調講演のほか、ICTを活用した在宅医療の地域連携等についてのシンポジウムを実施しました。



▲ 開会の挨拶を行う内科学第三講座の山本信之教授



▲ 基調講演を行うあるふあ訪問看護ステーション代表の長尾充子先生



▲ シンポジウムの様子

ボランティア感謝状贈呈式

令和7年3月11日(火)にボランティア感謝状贈呈式を行いました。

ボランティアの皆さんの日頃からの活動に敬意を表し、ボランティア活動時間500時間を超えた方々に対し、西村病院長から感謝状が贈られました。

当院ボランティアの皆さんには、患者さんの車いす介助や診療科までのご案内など、外来受診される方のサポートをしていただいています。

現在、一緒に活動していただけるボランティアさんを募集しています。

申し込み・ボランティアに関するお問い合わせは
073-447-2300(代表電話)から事務局医事課までご連絡ください。



▲ 贈呈式

掲 示 板

予約センター からの お知らせ

～診察予約のご案内(初めて受診される方へ)～

当院の外来受診は、原則として「診療情報提供書(紹介状)」をお持ちの方による「予約制」とさせていただきます。ご予約は、かかりつけの医療機関等からFAXでお申し込みください。患者さんからの電話による初診予約はお受けできませんので、ご了承ください。

■ ご予約の流れ

- ① かかりつけの医療機関等から当院所定の「紹介予約申込書」と「診療情報提供書(紹介状)」を予約センターあてにFAX送信してください。診療情報提供書がすぐにご用意できない場合は、予約申込日(かかりつけの医療機関等で予約を行った日)から概ね3日までを目途にFAX送信をお願いします。
- ② 予約をお取りし、予約日時・医師名を記載した予約票を発信元の医療機関にFAX返信します。夜間・休日の場合は翌平日の対応になります。
- ③ 予約当日は、予約票・診療情報提供書(紹介状)・画像データ(必要時)・マイナンバーカード(保険証)・診察券(受診歴のある方)・各種医療券・常用薬・お薬手帳を持参のうえ、各診療科外来受付に直接お越しください。
- ④ 予約日の変更は、当院予約センターにご本人からのお電話で受け付けさせていただきます。ただし、検査予約の変更については、当院の代表番号(073-447-2300)から各診療科外来へ平日15:00～17:00におかけください。

予約センター(患者支援センター)

FAX(医療機関専用)・・・073-441-0805
【受付時間】月・火・水・金…9:00～19:00
木……………9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

TEL(患者さんから予約変更専用)・・・073-441-0489
【受付時間】月～金…8:30～16:00(土・日・祝日・年末年始を除く)
※「痔がんドック」及び「がん検診後の2次検査」の予約については、
上記予約変更専用番号にてご予約が可能です。

最新の医学・医療カンファランスのお知らせ

令和7年度第1回市民公開講座を下記の通り開催します。医学・医療に関する専門的知識は必要ありませんので、興味のある方は、ぜひご参加ください。

- 開催日 令和7年5月8日(木) 14:00～16:00
- 会 場 本学 紀三井寺キャンパス 図書館棟3階 研修室
- 内 容 講演Ⅰ『運動で心を鍛える—うつ病の克服を目指して—』
講演Ⅱ『インスリンと糖尿病』

【申し込み・問い合わせ】

生涯研修センター
TEL.073-441-0789/FAX.073-441-0713
定員は先着30名まで
申し込み締切:令和7年4月17日(木)まで

患者さんの権利

当院では、受診される皆様が、以下の権利を有することを確認し、尊重します。

- 1.個人として尊厳と人格が尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
- 2.診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 3.十分な情報を得た上で、自己の意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
- 4.他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- 5.個人情報やプライバシーを保護される権利があります。

※当院では、患者さんの安全を守ることを第一に診療を行っておりますが、他の患者さんや職員への暴力・暴言・大声・威嚇などの迷惑行為があった場合は診察をお断りすることや退去を求めることがあります。
著しい場合は警察に通報いたしますのでご了承ください。

患者さんへのお願い

当院では、さまざまな医療を提供しておりますので、次のことを十分ご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

- 1.適切な医療を実現するために、患者さんご自身の健康に関する情報をできる限り正確にお話してください。
- 2.医療に関する説明を受けられて理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 3.治療上必要なルールはお守りください。また治療を受けていて不安を感じましたらすぐにお知らせください。
- 4.すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
- 5.当院は教育・研究機関でもありますので、医学生・看護学生などが実習や研修を行っております。ご理解とご協力をお願いいたします。
- 6.医師、看護職員、病院職員に対する謝礼、贈答品は固くお断りしています。

和歌山県立医科大学附属病院広報誌「まんだらげ」(vol.72)

2025年4月発行 発行／和歌山県立医科大学附属病院
〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1

TEL 073-447-2300
FAX 073-441-0706

ホームページアドレス
<https://www.wakayama-med.ac.jp/hospital>
「まんだらげ」はホームページからもご覧いただけます。



— 外来受付時間 —

- 受付時間:午前8時50分～午前11時30分
- 再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)
- 休診日:土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)
- ※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。

次号発行は
2025年
7月です。